

# 清らかな源流の里 県南農林だより 第22号



江竜田の滝(鮫川村)

## 農林業関係の動き

### ■ 県多面的機能支払推進協議会優良活動組織表彰

福島県民報社賞(優秀賞)

団体名	新田地区保全会(矢吹町)
活動概要	①長寿命化事業の直営施工 ②江戸時代から伝わる農業に由来する行事「三匹獅子舞」の伝承 ③景観形成、生物の生育状況調査
団体名	川原田地域資源保全会(中島村)
活動概要	①農耕行事「ぶじなぶち」の半世紀ぶりの復活 ②景観形成、生物の生育状況調査

特別賞

団体名	板橋環境保全会(白河市)
活動概要	①田への一時貯留を目的に水位調整板を各農家に配布 ②ため池、水路での生物の生育状況調査、pH測定 ③地域の「虫おくり祭」に協力

1月22日(月)、福島県多面的機能支払推進協議会より優良活動組織への表彰が行われ、県南地方の団体から左表の3団体が受賞しました。

農業・農村は単に食料を供給するばかりでなく、水源のかん養、国土や自然環境の保全、良好な景観の形成など多面的な機能

を有していますが、近年、農産物価格の低迷などを原因とした後継者不足や混住化等による集落機能の低下が進行し、多面的機能の発揮に支障が生じつつあります。

県では農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、地域の共同活動を支援し、地域資源の適切な保管理を推進する事業を展開しております。

今後も地域で頑張っている方々や活気ある組織活動を積極的に支援してまいります。(農村整備部)

### 目次

#### 農林業関係の動き

- ◇ 県多面的機能支払推進協議会優良活動組織表彰
- ◇ 全国植樹祭ふくしま2018木製地球儀引継式
- ◇ M I D E T T E 販売会
- ◇ 県南地方G A P推進セミナー
- ◇ 大豆ほ場実績検討会
- ◇ 県産木材利用県南地方連絡会議

#### コラム

- ◇ グリーン・リズム 鮫川村での取組
- ◇ 豊かなむらづくり顕彰事業表彰団体の紹介

#### お知らせ

- ◇ 霜害注意喚起
- ◇ 春の農作業安全
- ◇ 山火事注意喚起
- ◇ 山菜の採取・出荷注意喚起

### ■ 全国植樹祭ふくしま2018木製地球儀引継式(棚倉町)



木製地球儀引継の様子

平成30年6月10日(日)に南相馬市で開催される全国植樹祭の機運を盛り上げるため、昨年6月より県内全各市町村で全国植樹祭のシンボルである「木製地球儀」の巡回展示を行っています。

2月5日(月)には東白川郡で巡回展示を開始するにあたり、県南農林事務所長から棚倉町長に木製地球儀の引継式を行いました。引継式には福島県復興シンボルキャラクターの「キビタン植樹祭バージョン」とともに棚倉町シンボルキャラクター「たなちゃん」も登場し、式を盛り上げました。

6月10日はJR白河駅前イベント広場に全国植樹祭PR会場が設置されますので、多数の方がご来場されることを期待するとともに、今後も大会の成功に向けて機運の醸成を図って参ります。

(森林林業部)

## ■日本橋ふくしま館MIDETTEで6次化商品等のPR販売会



お客様で賑わうPRブース

2月8日(木)・9日(金)、県のアンテナショップ「日本橋ふくしま館MIDETTE」で、県南販路拡大促進協議会が県南地方の6次化商品や農産物のPR対面販売を行いました。

本協議会は、県南地方の6次化業者等で構成され、白河地方の産物の販路拡大について取り組んでいる団体です。

販売会は、MIDETTEの入口付近に陣取り、商品のPRや試食を行いながら販売を行いました。

特に、数種類の商品を一皿に盛り付けお客様に勧めるなど試食に力を入れたところ、お客様から商品の説明を求められたり、お買い求めいただいたりと効果的なPRができました。

参加した協議会のメンバーは、対面販売での試食やPRの重要性を改めて感じていました。(企画部)

## ■平成29年度 県南地方GAPセミナーを開催



GAPセミナーの様子

2月23日(金)、中島村生涯学習センター「輝ら里」において、県南地方GAPセミナーを開催し、約80名の参加がありました。

県では、昨年5月にGAP認証の取得数日本一を目指して「ふくしま。GAPチャレンジ宣言」を行い、7月には「ふくしま県GAP(FGAP)」を立ち上げました。

今回は「(認定NPO法人)GAP総合研究所」専務理事の武田泰明氏からGAPの概要について講演をいただき、その後、いわき市のあかい菜園(株)代表取締役の船生典文氏から認証を取得するコツ、苦労したこと、良かったことについてお話をいただきました。

参加者は、GAPを取り巻く最新の情報や認証取得の意義、県の補助事業について、熱心に耳を傾けていました。質疑応答も活発に

行われ、熱気あふれるセミナーとなりました。(農業振興普及部)

## ■大豆新品種「里のほほえみ」導入展示ほ成績検討会を開催しました！



検討会の様子

2月26日(月)、サンフレッシュ白河において大豆新品種「里のほほえみ」導入展示ほ成績検討会を開催しました。生産者や市町村、JAの職員など30名が参加しました。

導入展示ほは、平成29年2月に福島県主要農作物奨励品種に採用された「里のほほえみ」の導入推進を図るとともに、県南地域の大豆栽培に有効と考えられる技術を実証する目的で設置しました。今回の成績検討会では、「里のほほえみ」の品種特性を紹介するとともに、実証技術の調査結果及び技術の普及性について検討しました。参加者からは「里のほほえみ」について「収穫ロスが少ない」「現在の主力品種であるタチナガハでも同様の効果が得られるのでは」などの感想をいただきました。

本検討会が大豆生産における単収・品質向上に結びつくことを期待しています。(農業振興普及部)

平成30年  
6月10日開催!!



第69回 全国植樹祭

ふくしま  
2018





## ■ふくしま県産木材利用県南地方連絡会議の開催



会議の様子

3月2日(金)、国、県、市町村における公共建築物や公共土木事業への県産材の利用拡大を目的に「ふくしま県産木材県南地方連絡会議」を開催しました。

今年度は、福島森林管理署白河支署から新たに木造により整備した庁舎について、また、白河市から街並みに合わせた木造集会所整備の事例を紹介いただくなど、木材需要拡大に向けた意見交換を行いました。

また、現地検討会では、W.ALC推進協議会の協力のもと、泉崎中核工業団地に移築されたW.ALC実証実験棟の木材利用方法及び木材を外構部に利用する際に欠点となる耐久性を補う液体ガラス処理の特性や施工

事例の説明をいただき、新たな技術による木材利用の用途拡大について理解を深めました。(森林林業部)

## コラム

### ■鮫川村でのグリーン・ツーリズムの取組

鮫川村では農家民宿を核とした農村体験の受入が行われています。

現在村内で営業している農家民宿は5軒で、鮫川村農家民宿連絡協議会を中心として受入を行っています。

この農家民宿の体験として3月1日(木)～2日(金)に栃木県塩谷町で活動するしおやグリーン・ツーリズム推進協議会の会員総勢9名が宿泊されました。



農家民宿のお母さんと写真撮影

塩谷町では、ここ数年農家民宿開設

を目指す動きがあり、その勉強のために今回の宿泊に至りました。一晩一緒に過ごしたことで交流も深まり、翌日に実施した現地研修では、民宿の方と仲良く会話をしたり、写真を撮ったりする姿が大変印象的でした。

今回の宿泊を通して、参加者からは「民宿の方々の温かく迎えてくれて、とても楽しい時間を過ごせた」「民宿の開設を前向きに考えていきたい」等の感想が寄せられ、農家民宿開設の後押しになったと感じています。(企画部)



うちわづくりを体験する参加者

### ■豊かなむらづくり顕彰事業表彰団体の紹介

豊かなむらづくり顕彰事業は、集落等におけるむらづくり活動や農業生産活動において顕著な業績を収めている団体を表彰するものです。36回目となる本年度は6団体が受賞し、当管内からは白河市の野出島地域活性化プロジェクトが表彰されました。



菜の花祭りでそばを振る舞う会員

野出島地域活性化プロジェクトは、耕作放棄地に、菜の花・小麦・そばを作付けし、6次化商品の販売や各種イ

ベントの開催や、地区外の方を巻き込んだ「野出島散策マップ」を作成、地元小学校と連携した事業等に取り組んでいます。豊かな自然や文化財を活かした企画で地域の魅力を発信し、活気をもたらす活動が評価され、今回の表彰に繋がりました。(農業振興普及部)



表彰式

(中央は県知事、福島民友社社長)

■遅霜に注意

遅霜の発生や低温になるおそれがある期間中は、気象情報等に注意を払うとともに、防止対策の準備を徹底し、未然に農作物への被害を防ぎましょう。

なお、平成30年3月28日～5月31日(予定)まで、県南地方防霜対策本部を設置しています。

【野菜・花き】

- 苗を露地定植する場合は、十分な外気温への順化に努める。
- 露地栽培で、無理な早まき・植付はしない。栽培開始後に降霜が心配される場合は、被覆資材等により保温に努める。

【果樹】

- 燃烧資材の確保や防霜ファン・散水等の作動確認を行う。

4月1日～5月31日は

春の農作業安全運動

重点推進期間です



- ・耕うん機を使うときは、必ず後方確認してからバックしましょう。
- ・トラクターに乗るときは、シートベルトをしっかり締め、移動時はブレーキの連結を確認しましょう。

■山火事注意！！

県内各地においてこの春、林野火災が多数発生しています！ 空気が乾燥して林野火災が発生しやすい時期が続きますので、火の始末に十分注意をお願いします。

小さな火 大きな森を 破壊する

【山火事防止強化月間】

2/10～5/30

10/20～12/20

■山菜の出荷に注意してください！

県南地方におきましては、右表のとおり出荷の制限指示が出されておりますので、再度確認のうえ、出荷制限品目が出荷されないよう留意願います。

※出荷が制限されている品目については、検査の結果、食品中の放射性セシウム基準値100Bq/kgを下回っていることを確認した場合でも出荷することはできません。

※出荷が制限されている品目は、加工用の原材料として使用することもできませんので、注意してください。

◎なお、近隣市町村(他県を含む)の情報は下記ホームページ等でご確認ください。

品目	市町村
たけのこ	白河市、西郷村
たらのめ (野生の物に限る)	白河市、西郷村、泉崎村、 塙町、鮫川村
わらび	鮫川村
こしあぶら	全市町村
もみじがさ(しどけ) (野生の物に限る)	鮫川村

福島県の情報

ふくしま新発売

🔍 検索

福島県外の情報(林野庁)

山菜の出荷制限

🔍 検索



農林業に関する相談などお気軽にご連絡ください！

福島県県南農林事務所 企画部

〒 961-0971

住所 福島県白河市昭和町269[白河合同庁舎]

電話 0248-23-1577

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36230a/>

平成30年3月29日発行



ふくしまから  
はじめよう。

Future From Fukushima.